

行革のすすめ

Vol.12
平成24年4月1日

(いんたらネットふくい「職員のひろば」-左下メニュー「行革のすすめ」)



健全な財政運営を堅持するために ～事務事業評価の実施と財政指標の目標と財政収支の見直し～

大きな社会環境の変化に伴い、行政ニーズは複雑かつ多様化しています。社会保障費の増加や大型プロジェクトなどに対応していくためには、健全な財政運営を堅持していくことが必要です。

このため、県では、平成23年度から27年度までの5年間を推進期間とする「第三次行財政改革実行プラン」に「事務事業評価の実施」「財政指標の目標と財政収支の見直し」を掲げていますので、今回はその概要について説明します。

事務事業評価の実施について

事務事業評価システムとは？

当初予算に計上された事務事業について、その有効性を客観的な指標を用いて評価するシステムです。

評価の結果、十分な成果を伴っていないと判断した事務事業は、事業の見直しやスクラップを行います。評価の結果は、次年度の予算だけでなく、当該年度の執行のあり方にも反映させます。

評価内容

事務事業について「事務事業カルテ」を作成し、成果指標、活動指標を活用して評価

評価の流れ

① 事業担当部局で事業の自己評価を実施



② 財務企画課の意見を付与



③ 事務事業評価会議



政策幹と各部企画幹などがメンバーで
これまでの経験を踏まえたレベルの高い
評価

④ 外部委員による事務事業評価審査会



民間委員(行財政改革推進懇談会)が
高度で多面的な評価

⑤ 各部方針の決定



⑥ カルテの公表

事務事業評価審査会での意見

- ・全ての事業について、一定の期間を設け、見直しをかけていくべき
- ・事業の評価については、県民や企業のコンセンサスを得て進めるべき。また、新規事業を仕立てる際には、既存事業の補完も必要
- ・団体あての補助金については、自立に向けた指導があわせて必要
- ・活動・成果指標の妥当性は常に検討すべき
- ・評価にかかる作業効率についても考慮すべき

評価そのものに時間をかけ過ぎている



平成23年度の見直しの結果は！

平成24年度当初予算編成に反映しました (2,003の事務事業)

廃止した事業	92件	事業費	19億円	一般財源	13億円
縮減した事業	227件		11億円		6億円
合計	319件		30億円		19億円を削減

※その他、歳入確保対策として8事業の見直しを行い、5,880千円の歳入増が見込まれる結果となりました。

☆☆事務事業見直しのポイント☆☆

- ① 経済情勢など、環境の変化に伴う事業の必要性からの見直し
- ② 補助対象事業の面積、単価、補助率等などの基準の妥当性からの見直し
- ③ 定例的なイベントの効果性からの見直し
- ④ 委託対象業務の内容の見直し
- ⑤ 継続的な負担金の必要性からの見直し
- ⑥ 印刷物等の縮減など、無駄な経費の点検による見直し



今後は、評価の方法がよりよい方法となるよう検討し、評価のレベルアップを図ります。

事業を実施するに当たっては、効率的に仕事を進め、かつ事業の成果が上がるよう、限られた財源を有効に活用する工夫をしましょう。

行動をカエルくん

財政収支見通しについて

財政収支見通しの策定に当たって

少子高齢化の進行に伴う社会保障費の増加や県債の償還額の増加により、厳しい財政運営を余儀なくされています。

北陸新幹線や中部縦貫自動車道などの大型プロジェクト、平成30年開催の国体にも対応できるよう健全な財政運営をしなければなりません。

今回、平成24年度当初予算編成にあわせ、平成23年度から平成27年度における財政収支見通しを策定し、第三次行財政改革実行プランに追加しました。

平成19年度から22年度までの成果

- 財政指標（平成22年度決算）は、全国中位を維持。

将来負担比率：21位 実質公債費比率：27位

- 県債残高は、8,809億円

（臨時財政対策債を除く県債残高は、6,338億円）

- 財政調整のための基金残高は、当初の目標108億円に対し、395億円

目標（平成23年度から27年度）

- ◆ 将来負担比率

現状を超えないようにする

- ◆ 実質公債費比率

自主的な県債発行が可能となる18%を下回る水準を維持

- ◆ 債権残高

基金を活用した県債の繰上償還や新規発行の抑制により、27年度までに、臨時財政対策債を除く県債残高を約1,000億円減少させる

- ◆ 財政調整のための基金残高（平成27年度末）

標準財政規模に対し、5%程度に当たる約130億円を確保

将来のためにも
行財政改革を進めましょう。



意識をカエルくん

年度初めこそ業務改善のチャンス!!

4月になり、新しい部署に異動した方も、異動しなかった方も、年度初めに新たな気持ちで所属の業務の見直しを行いましょう。

今まで直せなかったところも、この機会に身近なところから率先して改善に取り組みましょう。

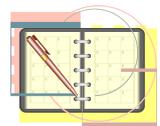
まずは業務の簡素化・集約化に努め、手順や方法、形式などを変えてみましょう。



毎年同じ方法、手法で業務を進めている場合

- ・昨年と同じやり方ではなく、合理化、効率化できないかななどを、業務担当ごとに年間スケジュールを作成した上でチェックし、見直しましょう。

⇒年間スケジュールが作成できれば、個人の月間、週間スケジュールが立てやすくなります。



起案文書等を個別に作成している場合

- ・ExcelとWordの連携機能を作成し、起案文書や、許認可証、許認可台帳、送付用宛先などを一度の入力で作成できるようにしましょう。あらかじめ様式を共有フォルダに作成し、業務の簡素化に努めましょう。



前任者に尋ねながら業務を進めている場合

- ・業務引継時は、実施マニュアルを作成し、伝えるべき事項をまとめて共有サーバーに作成し、広範なノウハウを効率よく伝えましょう。
- ⇒伝達事項漏れの防止にもつながります。
- ・必要最小限の概要版を作成し、説明書形式ではなく、Q&A形式で作成しましょう。
- ⇒マニュアルの作成が容易になります。
- ・県民からよくある問合せについては、Q&Aを作成し、HPにも掲載しましょう。
- ⇒問合せ自体を減らすことにつながります。



書類や備品の保管場所が分からない場合

- ・書類や備品の保管場所をデータで管理し、誰でもすぐに備品等を探せるようにしましょう。
- ・申請書などの公文書や複数の職員が活用する資料等は、担当者が手元に置かず、書架に備えつけるようにしましょう。

⇒机の周りも整理整頓され、職場の環境改善にもつながります。



職員配置図(座席表)が分かりにくい場合

- ・来庁者にわかりやすい職員配置図(座席表)を心がけて作成しましょう。
- ・顔写真、名前のフリガナ、入り口や所在地、担当業務と内線番号を表記し、課員に配付しましょう。

⇒電話などの問合せにも、異動直後から即座に担当者に取次ぐことができます。



平成23年度グッドジョブ賞決定!

おめでとう

グッドジョブ賞7件9名が決まり、平成24年3月15日に知事室で授賞式が行われました。

また、部局長賞も20件選ばれました。

受賞されたみなさんは、それぞれの職場において創意工夫をし、職務や業務改善において素晴らしい成果を上げられました。

みなさんも質の高い県民サービスを提供するため、「前例」とらわれず、チャレンジ精神を持って仕事を進めましょう。



【授賞式の様子】



自分をカエルくん

【平成23年度グッドジョブ賞受賞者】

	所属と受賞者	功 績 概 要
1	安全環境部 自然環境課 総括主任 片山 博之 主査 平山亜希子 主査 中屋 健史	コウノトリ受け入れの環境整備 コウノトリの野生化に必要な餌場を確保するため、減農薬や減化学肥料での水稻栽培などを呼び掛け、自然再生に対する地元との協力体制と環境整備を促進しました。
2	産業労働部 労働政策課 主任 上田 真子	本県独自の企業子宝率の調査・公表 本県独自の「企業子宝率」を全国で初めて調査・公表し、7社を子育てモデル企業として認定しました。また、独自の取組みの紹介などを通じ、県内企業の子育て支援の取組みを促進させました。
3	観光営業部 ふるさと営業課 主事 中村 峰子	東日本大震災被災県のふるさと納税代行 東日本大震災被災4県のふるさと納税受付事務代行を円滑に実施するとともに、積極的な広報に努め、約15,000,000円を代行受領し、ふるさと納税制度を全国に発信しました。
4	農林水産部 農業試験場 (食品加工研究所) 主任研究員 佐藤 有一	六条大麦ビール醸造技術の開発と商品化 ビール醸造が困難であった六条大麦のビール醸造技術を開発・商品化し、作付面積、生産数量とも日本一である本県の六条大麦の新たな利用拡大に貢献しました。
5	農林水産部 園芸畜産課 企画主査 菅江 哲	先端技術を活用した植物工場の誘致 新たな誘致補助制度の創設や熱意ある誘致活動により、先端技術を活用して完全無農薬の結球レタスを年間を通じて収穫できる植物工場を誘致しました。
6	土木部 福井土木事務所 主任 酒井 秀児	道路災害危険箇所見える化による道路パトロールの効率化(BPR) 管内の道路冠水や法面崩壊による過去7年間の通行止め箇所を分析し、道路区間ごとに災害発生の目安となる要注意雨量を設定するとともに、道路パトロールの要注意箇所等を管内図に明示し、災害防止のための初動体制を整えました。
7	教育庁 県立美術館 主任学芸員 戸田 浩之	魅力ある「江一姫たちの戦国展」の開催 NHK大河ドラマ「江一姫たちの戦国」展の開催に際し、借用が困難である江ゆかりの美術品を福井限定で借り受けることに成功しました。また、展示手法を工夫し、約10年ぶりの30,000人を超える集客に貢献しました。

春の健康管理

行革のすすめ

あなたのからだの
声を聞いてあげましょう!



新年度が始まります。

元気に働くことができる生活は、健康な「からだ」と「心」があってこそ送れるものです。

毎年、生活習慣病検診または人間ドックのどちらかの健診を必ず受け、健康チェックを行いましょ。

◆健診で見ていること

人間の「からだ」は約60兆個の細胞から作られており、それぞれの細胞は生きるために血液から必要なものを受け取り、老廃物を渡すという新陳代謝を繰り返すことで「からだ」を維持しています。

「からだ」を維持するためには、この**血液の質と流れが重要**です。健診では、この血液の質と流れを見えています。

血液検査

- ♡ 中性脂肪やLDL コレステロール等の脂質の量を調べます。
多すぎると**傷ついた血管壁に入り込み動脈硬化を進めます。**
- ♡ ブドウ糖の量を調べ、糖尿病の発見の手がかりとなります。
糖尿病は**ドロドロした血液が血管を傷つけ、動脈硬化を進めます。**

血圧測定

- ♡ 心臓から送り出された血液によって、血管にかかる圧力を測っています。
血圧が高いと血管壁が傷つきやすくなり、その傷からコレステロール等が血管壁に入り込み動脈硬化を進めます。

眼底検査

- ♡ 目の奥の網膜の状態から動脈硬化の程度を調べます。唯一、体の中で見ることができる血管です。

心電図検査

- ♡ 血液を送り出す心臓の機能を調べます。



**サラサラした血液が、しなやかな血管の中を流れていると
細胞はイキイキとして元気!**

◆人間ドックの申し込み

人間ドックを希望する場合は、**電子申請による申し込みが必要**です。

電子申請の方法、期間につきましては、**4月上旬に各所属長あて通知**しますので、希望される方はお申し込みください。

◆歓迎会等での飲酒に注意

この時期、歓迎会など飲酒の機会が増えます。
お酒の飲み方に注意し、急性アルコール中毒による事故を防ぎ、楽しく飲みましょう。

● お酒の飲み方

- ① 食べながら飲む オススメは高タンパク質の肉、魚介類
- ② アルコール以外の水分を補給する
- ③ 適量を心がけて飲む ※飲酒後の運動、入浴は危険です!!

● 急性アルコール中毒による死亡事故

エタノールによる脳の麻痺が原因で呼吸機能や心拍機能を停止させて死に至ることがあります。

また、転倒による骨折などの外傷も危険ですので要注意です。



◆一口メモ

《ヒノキによる花粉症のピーク》

スギ花粉の量が減るのに伴い、増加するのがヒノキの花粉。4月以降も花粉症の症状が続く場合は、ヒノキによる花粉症を疑う必要があります。

マスクや目薬などで、引き続き対処しましょう。



自己啓発のすすめ

～知っていますか？自己啓発支援制度～

みなさんは、様々な自己啓発支援制度があることをご存知ですか？
初めて聞いた方や今まで制度を使ったことがない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。
平成23年度から、目標管理表に「自己啓発目標」を記載することになっています。制度の概要を紹介しますので、制度を上手に活用して、スキルアップを図りましょう！

通信教育講座助成

期限内に履修を修了した場合に、講座受講料の1/2を助成

語学(英語・中国語など)、資格取得(簿記、社労士、宅建など)、能力開発(企画力向上、マーケティングなど)全部で200以上のモデルコースがあり、受講したい講座を選択していただきます。

(毎年4月頃通知)

【平成23年度 通信教育講座モデルコース】(抜粋)

区分	コース名	期間(月)
資格	日商簿記検定受験講座	3
	社会保険労務士テキスト通信講座	6
	宅地建物取引主任者コース	6
能力開発	マーケティングコース	2
	企画力を強化する	3
女性支援	女性管理職(リーダー)の役割行動コース	3
	女性職員キャリアアップコース	2
語学力	挑戦900点 TOEICテスト攻略プログラム	6
	TOEICテスト 470点入門マラソン	4
	ビジネスEメール速習パック	3
	シゴトの中国語 速習パック	3
	韓国語マラソン	6

資格取得や
語学講座が
人気☆



放送大学授業料助成

単位認定試験を合格した場合に、授業料の1/2を助成

放送大学は、テレビ・ラジオで学ぶ遠隔教育の大学

興味のある1科目から大学卒業資格まで約9万人が学んでいる通信制大学で全300科目の放送授業や全国57か所の学習センター等での面接授業でスキルアップ、自己実現など、生涯学習を目指す方を応援する大学です。この助成対象科目の単位認定試験を合格した者に授業料の1/2以内の額を助成します。

職務に役に立つ資格等取得支援制度

資格を取得した日から1年前までの経費の2/3を助成

(語学力と資格Aは上限10万円、資格Bは上限5万円)

「**語学力**」: 英語(TOEIC900点以上、実用英語検定1級など)、中国語(中国語検定2級以上など)

国際交流で通訳ができる語学力相当の資格

「**資格A**」: 弁護士、司法書士、公認会計士、弁理士など

「**資格B**」: 税理士、応用情報技術者試験、通訳案内士、中小企業診断士、社会保険労務士ほか
(31資格)

を取得した場合に対象となります。

～例えば、こんな資格を取得されています～

1級土木施工管理技士、第3種電気主任技術者、気象予報士、中国語、環境計量士、技術士、
1級建築士、簿記、精神保健福祉士、認定看護師、野菜ソムリエ、建築基準適判定資格者

大学院修学助成

大学院修了者に図書等の購入費や学会参加交通費等の1/2を助成(上限10万円)

幅広い視野と高度な専門知識、豊かな創造性を備えた人材の育成を図るため、大学院に修学し、自己啓発を行おうとする職員を助成します。

対象大学院: 県内外の大学院 [博士課程(前期)(修士課程を含む。)、博士課程(後期)]への修学を対象とします。(通信制による修学を含む。)

対象者: 職務に従事しながら、勤務時間外を利用して大学院へ進学している職員および自己啓発等、休業制度を利用して大学院へ進学している職員(ただし、教員、警察職員を除く。)

新 研究論文投稿支援

業務に関連した論文を投稿した場合に、投稿料等の1/2を助成(上限2万5千円)(予定)

※詳細は、後日「職員のひろば」⇒「表彰・研修」⇒「自己啓発支援制度」の中に掲載する予定です。

各支援、助成制度の詳細等は・・・

「**職員のひろば**」⇒「**表彰・研修**」⇒「**自己啓発支援制度**」の
各支援、助成制度の項目に掲載されています。

自己啓発、職務に役立つ語学力および資格を意欲的に備えようとする職員を支援します。

定時に退庁し、自己啓発の時間に充てるのもいいね。



定時にカエルくん